

会 議 録

会議の名称	平成24年度第7回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成25年2月2日（土）午前9時30分～12時
開催場所	教育委員会 2階 会議室
出席者	中澤佳珠代委員、前田憲之委員、児玉亮一委員 西山ひろみ委員、武田秀規委員、高野昂子委員 長ヶ原美博委員、田尻 円委員、佐藤晃子委員 事務局（生涯学習課長、副課長）
欠席者	1人（羽石貴裕委員）
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	1. 協議事項 （1）アンケート「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」のまとめについて 2. 報告及び連絡事項 （1）第18回生涯学習フォーラムについて （2）その他 3. その他 （1）会議の開催について
会議資料	①公民館だより（1・2月等） ②入間地区社会教育協議会研修会報告書 ③文化協会だより ④難波田城だより
会議録確認	西山ひろみ委員

会 議 内 容 (要点記録)

○ 議長あいさつ

○ 報告及び協議事項

1. 協議事項

(1) 協議テーマ「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」のまとめについて

○ 進行議長から、本日の協議は、はじめに、前回の協議以降のグループ（A：文化活動、B：子ども関係）ごとの協議状況を報告いただき、その後、意見交換をすることとし、了承された。

A：文化活動グループの報告

聞き取り調査を4団体から行うこととし、これまで2団体から聞き取りを行った。

聞き取り内容は、①サークル設立のきっかけは（活動の内容は）、②活動を始められたきっかけは、③活動の中心世代は、④メンバーの募集方法は、⑤活動の楽しみは何か、⑥活動の発表はどのようにしていますか、⑦サークル活動をすすめる中で行政への要請事項があれば聞かせて欲しい、⑧会費はどうされていますか、⑨メンバーに若い方がどのくらいいますか（人数は？）、⑩民間カルチャースクールでなくサークル活動をしているわけは、⑪後継者の育成は、⑫見学した活動のようす、以上12ポイントとした。

聞き取りが終了したところで印象に残ったのは、「やまびこ山草会」では市民文化祭などに参加した際に、必ず入会案内を準備しておき、見学の方に渡すようにしているということ。ただ、その場で入会勧誘は行わず、活動時の見学にお誘いしているということがある。また、会の役員などについては、会員の多くに役割が割り振られていて、役員に対するハードルが低くなっていることがある。

「富士見日本語サークル」では、外国の方に日本語を指導する活動をしている。活動の中心は指導時間の取れる方ということもあり、50代から60代であるが、活動は年齢ではなくやる気が大事であるという話があった。活動のようすでも、生き生き目が輝き楽しそうであった。活動上の要望では、指導講師の募集に市としても協力してほしいということで、行政の代わりに実施している側面もあり、必要ではないかと感じた。後継者の育成では見通しは暗いが、NPO富士見市民大学の協力を得て、講師養成講座を行う予定ということで、このような連携は大切と思った。

カルチャーセンターにも足を運んでみたが、市民のニーズに合っていることや手軽にいけて、気軽に参加できることから、多くの方が利用しているようだ。そこでは、体験もできるため、そのことをきっかけに利用することもあるようだ。

B：子ども関係グループの報告

これまでは、設問ごとにアンケートをまとめることとし、分担して今回持ち寄った。

質問6「自身にもたらした変化・結果」では、人間的成長を感じつつも、自由時間の減少が家族へのしわ寄せがあると感じているとまとめられる。

質問7「活動上、重視していること」では、①みんなで協力して負担を軽減する

こと。②地域活動の連携。③組織の中の男女割合のバランス。④興味関心を持ち取り組める活動などを重視しているとまとめられる。

質問8「地域活動に関する展望と課題」では、個人的には仕事・家庭・地域活動がどうバランスよく行えるか。組織や地域で考えると、負担が大きいというイメージをいかになくしていけるか、また、活動の必要性の認識を高めていけるかが課題となっている。

質問9「活性化や仲間を増やす取組み」では、①自分が活動を楽しむ気持ちを持つこと。②活動を知ってもらうため、あらゆる場面で語っていくこと。③赤ちゃん世代のコミュニティを工夫すること。④魅力ある、見える活動をすすめることなどがあげられた。

質問10「リーダーの育成」では、子ども関係の団体は、子どもを中心に組織された団体であることで、誰がリーダーを務めるかが課題で、一度リーダーとなると、その人にお任せで、ずっと続けることになる。このことは組織の閉塞感を生み出し、活性化していかない。このことが課題になっている。

○ 続いて、事務局からの提言のまとめ方とスケジュールの説明を受けて、意見交換を行った。

● 主な意見などは以下のとおり。

- ・ 提言として、どのような形が活用しやすいのか検討が必要である。
- ・ 社会教育関係団体からのアンケートもあり、団体が利用しやすいものも必要ではないか。
- ・ 効果が大きい点からまとめるとか、課題も多くの方が挙げたことからまとめるなど、わかりやすいものを作りたい。
- ・ 提言、集計としてそれぞれにまとめる。また、最初に提言をまとめ、そのあとアンケート集計を行うようにしたらいいのではないか。

○ ここで、意見交換を終え、今後のまとめ方などについて、各グループ単位で協議してもらうことにした。終了後、今後の予定をそれぞれに報告してもらった。

A：文化活動グループの報告

- ・ これまでの調査等の結果から、問題点が具体的になってきたので、それらを各委員が20項目書き出してきて、それを持ち寄り、2月14日にまとめることとした。

B：子ども関係グループの報告

- ・ 質問ごとのまとめの精度を上げ、それぞれに考察したものを集約して、次回会議に提示していくこととした。

○ 全体については、文化活動と子ども関係では違いが大きいので、これからはまずグループ単位でまとめていくこととした。

2. 報告及び連絡事項

(1) 第18回生涯学習フォーラム（入間地区公民館研究集会）について

1月30日（水）午後1時～4時30分 狭山市市民会館

<参加委員>長ヶ原委員 公民館審議会委員など

(2) 入間地区社会教育協議会第5回社会教育委員部会について

2月8日（金）午後2時～ 所沢市役所

<参加予定委員>羽石委員、長ヶ原委員 以上2人。

3. その他

(1) その他

・次回の日程は、平成25年3月2日土曜日、午前9時30分からとする。改めて、通知する。

(閉会)